



18回目の東ヶ丘区文化祭 区民の力作が展示

2月27・28日、東ヶ丘区(山田亮区長)で、東ヶ丘区文化祭が行われました。

東ヶ丘区の文化祭は歴史があり、今年で18回目を迎えました。

公民館には区民が趣味で作った花や短歌、習字、絵画などの作品が展示され、来場者はその見事な作品をじっくり鑑賞していました。子ども会で作った絵や工作もあり、子どもから大人までたくさんの区民が参加し、作り上げた文化祭でした。



▲2日間でたくさんの人が作品を鑑賞しました

全国ガールズ8(U-12)サッカーフェスティバル ～第6回Jヴィレッジなでしこカップ～に出場

2月12日～14日、福島県「Jヴィレッジ」で、全国ガールズ8(U-12)サッカーフェスティバル～第6回Jヴィレッジなでしこカップ～が行われました。

本町の一原ななみさん(光の森5町内)、福地彩音さん(沖野)が所属する「MELSA熊本FCポニー」が九州代表として出場。全国の強豪チームとの熱戦を繰り広げ、第5位という成績を残しました。



▲福地彩音さん(左)、一原ななみさん(右)

菊陽町人権教育研究大会 家族のきずな大切に

3月6日、菊陽町図書館ホールで、菊陽町人権教育研究大会が行われました。

松本サリン事件の第1通報者である河野義行さんが「報道と人権」の講演会をされ、「報道は時には危険なものであり、警察や世間から犯人扱いされたが、家族や友人との絆で耐えることができた」と話されました。また、東部町民センター「ふれあい劇団」が人権劇「カボチャの花」を披露し、家族が支え合うことの大切さを熱演しました。



▲河野義行さん ▲ふれあい劇団「カボチャの花」

第16回担い手育成推進大会 農業で儲ける!～アイデアを形にする方法～

2月22日、町図書館ホールで、農業の活性化を目的とした担い手育成推進大会が開催されました。

この大会には、農業関係者約120人が参加。昨年の、農業ビジネスプラン日本一を決める「A-1グランプリ」で特別賞を受賞した(株)農業総合研究所代表取締役の及川智正さんによる講演や、地産地消をテーマとした農産加工品の試食会、牛乳や日本茶の消費拡大キャンペーンなどが行われました。



▲及川智正さんによる講演「農業で儲ける！」

地域交流事業 南小校区民のつどい

3月6日、南部町民センターで、南小校区民のつどいを開催しました。

今回は校区内外から約150人が参加。映写会や6年生の「南校区に住んで」の発表、地域ボランティアによる地域産物を使った食交流が行われました。

また、鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館の豊重哲郎館長から地域活性化に向けての講演があり、「何事も本気でやる気さえ起こせば必ず奇跡がおき、実現することができる」との話がありました。



▲豊重哲郎館長「地域活性化に向けて」の講演

第33回菊陽町子ども会駅伝大会

3月14日、菊陽杉並木公園ふれあい広場で、第33回菊陽町子ども会駅伝大会が開催されました。

町内各地区の子ども会から総勢29チームが参加し、公園内および周辺のコースをタスキでつなぎました。

会場では、息を切らしながらも一生懸命走る子どもたちに、保護者から力強い声援がかけられていました。大会結果は次のとおりです。

- 【規定】優勝 鉄砲小路A 準優勝 上津久礼A 第3位 武蔵ヶ丘4町内子ども会
- 【オープン】優勝 三里木子ども会 準優勝 大堀木子ども会 第3位 下津久礼子ども会



▲規定の部で優勝した鉄砲小路Aチーム

TOPICS まちのわだい

菊陽町は、 優れたお茶の産地です!

3月3日、県経済連ホールで県茶振興大会が開かれました。菊陽町は、県内でも優れたお茶の産地として有名で、多くの生産者が表彰を受けました。

県経済連茶生産流通協議会茶共進会個人賞蒸製玉緑茶の部 特等 福本勝さん(戸次)
一等 森田俊郎さん(曲手)、福本美智子さん(戸次)
二等 吉山一也さん(馬場楠)
県茶品評会会長賞茶園の部 三等 上田茂政さん(中代)



▲受賞されたお茶生産者の皆さん

第22回菊陽町ふれあい駅伝大会

3月14日、菊陽町ふれあい駅伝大会が菊陽杉並木公園スポーツ広場をスタート・ゴールとする6区間13.8kmで行われ、18チームが健脚を競いました。

選手がそれぞれの中継地点へ移動すると、午前10時半に一斉にスタート。チームや観客の応援を受けながら、少しでも早くタスキをつなごうと力走しました。大会結果は次のとおりです。

- 【一般の部】第1位 OB's～勝手に黄金時代～ 第2位 チームオオムラ 第3位 ウイング
- 【中学生の部】第1位 菊陽中 第2位 武蔵ヶ丘中



▲一斉にスタートする第一走者